

ぴあアリーナMM

PIA ARENA MM

No. 09-010-2021作成

新築
興行場

| | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------|-------|--------------|--|----------|----------------------------|-------------|-----------|--------------|------------|--|
| 発注者 | ぴあ株式会社 | カテゴリー | A. 環境配慮デザイン | | | B. 省エネ・省CO ₂ 技術 | | C. 各種制度活用 | | D. 評価技術/FB | |
| 設計・監理 | 佐藤工業・とお設計共同体 | | E. リニューアル | | F. 長寿命化 | | G. 建物基本性能確保 | | H. 生産・施工との連携 | | |
| 施工 | 佐藤工業株式会社 東京支店 | | I. 周辺・地域への配慮 | | J. 生物多様性 | | K. その他 | | | | |

街に賑わいを創出する、音楽に最適化したアリーナ

民間企業による1万人規模のアリーナ

ぴあアリーナMMは、国内初となる民間企業一社単独主導の1万人収容音楽アリーナである。ライブエンターテインメントへの需要が高まる中、顕在化するイベント会場不足を解消し、民間主導ならではの視点から、コンサートを観る側、演じる側双方のニーズをくみ取り、音楽に最適化したアリーナを目指した。

一体感のある客席構造

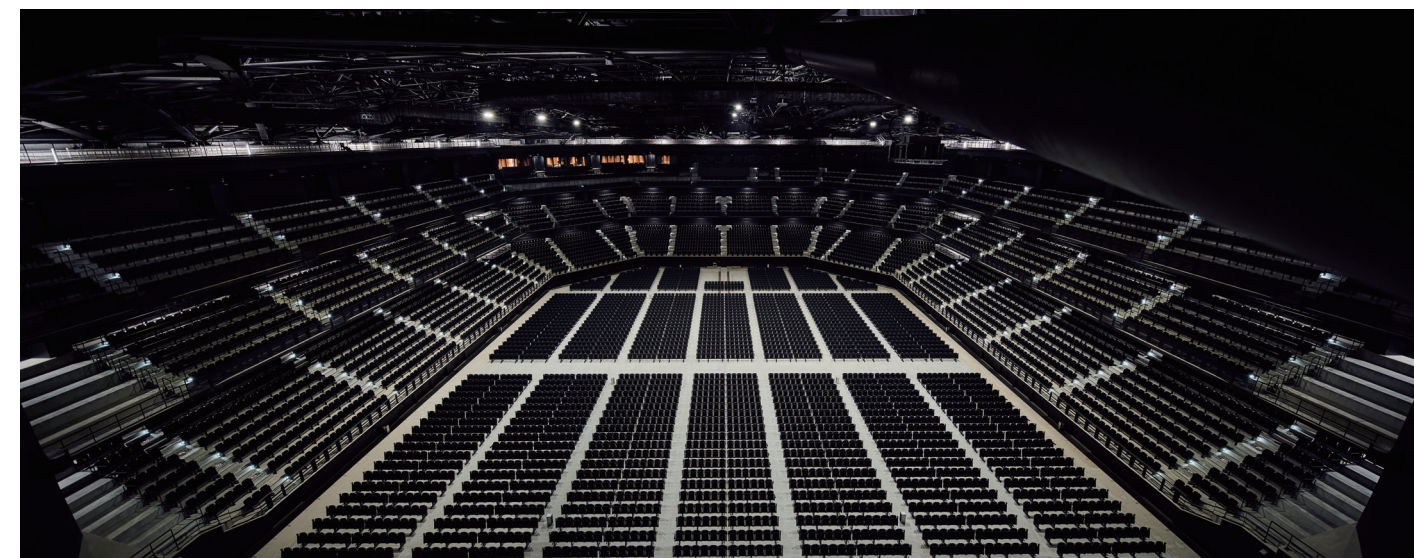
本アリーナは上部4層に客席を積み上げ、座席を前に跳ね出すことで、どの座席からもステージが近く感じられる断面形状が特徴である。会場全体で一体感のあるライブが可能となると同時に、コンパクトな建築の実現にも寄与している。観客席の床および梁は省力化工法としてPCaを採用している。

音響・遮音対策

音楽用アリーナとして最適な残響時間となるように、内装・座席の素材、吸音材を決定した。また、アリーナ壁、外壁を共にRC造とし、開口部の遮音対策を確実に行うことで、外部に音が漏れないように配慮した。



外観



アリーナ全景

| | | | | |
|-------|-----------|------------------|--|------|
| 建物データ | 省エネルギー性能 | CASBEE評価 | | |
| 所在地 | 神奈川県横浜市 | BPI _m | | 0.90 |
| 竣工年 | 2020年 | BEI _m | | 0.99 |
| 敷地面積 | 12,000㎡ | | | |
| 延床面積 | 23,139㎡ | | | |
| 構造 | RC造 一部S造 | | | |
| 階数 | 地下1階、地上4階 | | | |

景観への配慮

計画地は横浜市みなとみらい21地区であり、周辺の街並みとの調和が重要であった。アリーナ特有のドーム形状の屋根が強調されないようにパラペットを高くし矩形のスカイラインを形成することで、周辺建物との連続性に配慮した。ファサードは高層部の壁面をセットバックし、デザインを切替えることでボリュームの低減を図っている。また、ガラスカーテンウォール、陰影のある壁面を組み合わせることで長壁が単調にならないように分節化した。

街のアメニティに配慮したCOMMONスペース

1FピロティはCOMMONスペースとして街へ開放し、雨天時も歩行者が快適に利用できる空間としている。柱にはデジタルサイネージを設置し、イベントと連動したコンテンツやアート展示、交通・災害情報など情報発信の場として機能するよう計画した。駅から連続する2FペDESTリアンデッキにはパブリックアート（タイルアート）を設置し、憩いの場を提供している。

設備計画

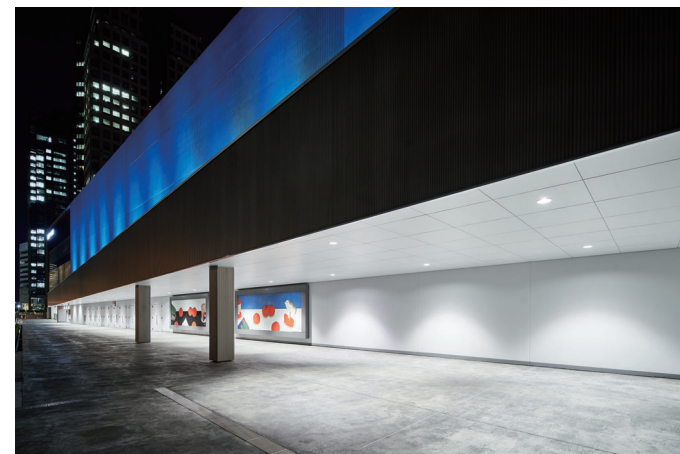
本施設の冷暖房空調は地域冷暖房を使用することで、建物から発生する排熱を根本的に低減している。また、人員密度が特殊な大空間の空調環境については、通常のアクリット換気計算に加え、温熱気流シミュレーションを行い目標達成していることを3次元データで確認し、設計に反映している。また、CO₂はセンサーを設置し、中央監視にて監視する計画とした。

街への賑わいの創出

外壁カラー照明により、公演と連動したライトアップ演出をすることで、エンターテインメント施設ならではの賑わいを街へ創出している。2FペDESTリアンデッキに面して設けた飲食店、3Fラウンジはゆとりのある階高を活かし、全面ガラスとすることで日光を利用した明るい空間とした。また店内の賑わいが外部から感じられるように配慮した。



1Fピロティ



2FペDESTリアンデッキ



2F飲食店



3Fラウンジ

設計担当者

統括：西尾典浩/建築：村口玄（株式会社とお一級建築士事務所）、浜住美香/構造：山口薫、内川誠、矢富佳剛、石塚祐太
電気設備：渡辺英章/機械設備：萩原寿樹、池田紀生

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2.2 耐用性・信頼性（節水型機器、受水槽非常用水栓設置）
- Q3.2 まちなみ・景観への配慮（周辺の街並みへの配慮）
- Q3.3 地域性・アメニティへの配慮（COMMONスペース・ペDESTリアンデッキ設置）
- LR1.3 設備システムの効率化（温熱気流シミュレーション、地域冷暖房の利用）
- LR2.2 非再生性資源の使用量削減（内装仕上材におけるリサイクル材の使用、観客席の床および梁のPCa化）
- LR2.3 汚染物質含有材料の使用回避（ノンフロン断熱材の採用）